

# 「没後50年 藤田嗣治展」 関連文化講演会

東京都美術館で開催される「没後50年 藤田嗣治展」に関連する文化講演会を、NHKと共催で開催します。

2018年は、エコール・ド・パリの寵児(ちょうじ)のひとりであり、太平洋戦争期の作戦記録画でも知られる藤田嗣治が世を去って50年目にあたります。この節目に、日本はもとよりフランスを中心とした欧米の主要な美術館の協力を得て、画業の全貌を展覧する大回顧展が開催されます。本展では、藤田の代名詞ともいえる「乳白色の下地」による裸婦の代表作が一堂に会するだけでなく、初来日となる作品やこれまで紹介されることが少なかった作品も展示されるなど、見どころが満載の展覧会です。

フジタの画業の全貌を解き明かす大回顧展

「私は世界に日本人として生きたいと願う。」

没後50年 藤田嗣治展  
Fujita  
A Retrospective  
Commemorating the 50th Anniversary of his Death

2018.7.31火〜10.8月・祝 東京都美術館 東京・上野公園  
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM TOKYO UENO-PARK

**日時** 平成30年8月30日(木) 午後6時50分開演(午後6時20分開場)

**会場** 日本橋公会堂ホール(日本橋劇場) 中央区日本橋蛸殻町1-31-1

**対象** 区内在住・在勤者

**主催** 中央区文化・国際交流振興協会／NHK

**講師** 下倉 久美(東京都美術館 学芸員)

講演会受講者には、「没後50年 藤田嗣治展」の招待券を1人1枚差し上げます。  
会期:平成30年7月31日(火)～10月8日(月・祝)、開室時間:9:30～17:30  
※会期中の金曜日は20:00まで、8月3日・10日・17日・24日・31日の各金曜日は21:00まで(入室は閉室の30分前まで) 休室日:月曜日、9月18日(火)・25日(火)  
《ただし、8月13日、9月17日・24日、10月1日・8日の各月曜日は開室》  
会場:東京都美術館

**定員** 424人(申込多数の場合は抽選)

**参加費** 無料

**申込方法** 7月31日(火)(必着)までに、返信用の宛名欄に〒・住所・氏名を記入した往復ハガキ(1人1枚限り)に  
①藤田嗣治展講演会 ②氏名・ふりがな ③〒・住所 ④電話番号 ⑤年齢  
⑥在勤の方は勤務先の名称・所在地・電話番号を記入して申し込む。  
《料金不足の往復はがきは返却します。また、申込み要件不備・重複申込み・必着日を過ぎた申し込みは無効とします。》

**申込・問合せ先** 中央区文化・国際交流振興協会 〒104-0041 中央区新富1-13-24 新富分庁舎内  
電話:03(3297)0251 HP: <http://www.chuo-ci.jp/>